

## 会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成25年度第3回高松市屋島山上拠点施設整備等検討懇談会
開催日時	平成26年2月20日(木) 14時30分～15時50分
開催場所	高松市美術館 講堂
議 題	(1) 屋島山上拠点施設基本構想(素案)について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	梅原委員(会長), 丹羽委員(副会長), 蓑委員, 八木委員, 長谷川委員, 児玉委員, 井上委員, 吉田委員, 森委員, 蓮井委員, 藤原委員, 松谷委員
傍 聴 者	0人
担当課および 連絡先	政策課 839-2135

### 審議経過および審議結果

議事に先立ち、会長から挨拶を行った。  
次の議題について協議し、下記の結果となった。

議事(1) 屋島山上拠点施設基本構想(素案)について  
議事(1)について、資料に基づき、事務局から説明した。

#### 【主な質疑・意見等】

(会長)

基本構想の素案について、委員皆さんの御意見をいただきたい。

(委員)

デザインをどうするかということについて、コンペか、好きな設計者を何名か選定して、そこから選ぶか。コンペは、今の時世だと、たくさんの応募が見込めると思う。審査する人にどういう人を選ぶかということが問題になってくる。

また、「子ども」をどう扱うかという点については、もう少しきちんと入れて欲しい。

(委員)

施設のコンテンツが重要だと思うので、設計段階等で、我々の具体の意見を反映させてほしい。また、設計者の選び方も重要なポイントだと思う。

(委員)

イベントなどの情報を提供する施設を、山上駐車場の近辺に別途整備する点については、施設が重複して、もったいないような気がしている。

眺望が一番良いのは、崖のすぐそばであり、素案の場所は、その点でどうかな、と思う。また、駐車場の少し北の広場からだと、北嶺を中心とした、屋島そのものの形状を見ることができ、この点からも整備場所としては駐車場近辺が適地だと思うが、多くの方が素案の場所を支持されるということであれば、やむを得ないと思う。

(委員)

子どもたちに、屋島を誇りに思ってもらいたいと考えている。全体的に、子どもに対する思いが薄いような気がしており、子どもに関する新たな項目を起すくらいは扱いが必要ではないか。屋島からの眺望の素晴らしさなどを、子どもたちが外に出た際に、自慢できるようにしたいと思っている。

## 審議経過および審議結果

いずれにしても、建物を建てて終わりではなく、その後の活用が重要だと思う。

(委員)

設計者に優れた人を選んだとしても、運営等、その後が続くものが一緒になっていなければならない。いい建築物はできたがそれだけで終わっている、残念な施設が全国にたくさんある。

金沢の21世紀美術館は、行政・建築家・学芸員が一緒になって、建物も何もない段階から議論して、設計者に伝えていったことから、できた後、あれだけの企画・運営ができて成功している。

設計者を選ぶのはどんな手法でも良いが、建物の内容が具体的に示されていない段階で、設計を考えることに不安を覚えている。建物はできても、中身のない寂しい施設になることを危惧している。

コンペで設計者を公募した場合に、良いところは、資格を問わなければ誰でも応募できる点である。しかし、設計図を書いたり模型を作らなければならないなど、応募者の負担になるし、施主の方も内容をしっかり詰めていかなければならず、時間的な問題もある。

一方、プロポーザルであれば、図面、模型までは作る必要がなく、考え方をイラストなどで応募でき、負担がそんなにかからない。行政にとっても、市民の意見を聞きながら作っていけるということで、今のコンテンツの内容であれば、プロポーザル形式の方が良いと思う。ただ、入札参加資格やこれまでの実績等が問われるため、若い方や小さい事務所などは参加できないという問題があるが、これは行政の考え方次第である。

1人の設計者を選定するというのも、公共の施設を設計する際には、透明性の問題もあるので、今の状況を見ると、プロポーザルをノミネートしやすい形で実施し、市民の意見も聞きながら、最終的な形に持っていくのが望ましいと考える。

(委員)

21世紀美術館は、コンペ方式で、多くの方が参加されていた。

(委員)

屋島を活性化するため、人を呼べる施設とすることが基本コンセプトである。

訪れる人が、10年、20年と訪れてくれるような、長く使える施設を造って欲しい。

(委員)

せっかく立派な基本構想ができつつあるので、あらゆるメディアを活用して、多くの人に情報提供をすることが必要である。また、スピード感を持って、推進することが重要である。

(委員)

具体的にどんな施設になるのかのイメージが湧かない状況である。例えば、イラストのような、目に見える形を示せば良かったと思う。

また、夕方の眺望を楽しむ場合や年末年始などを考えると、いつ開館しているのかという点についても疑問である。

(委員)

訪れた人が何らかの感銘を受ける施設が、現在の屋島には無いので、中心となるような建物が欲しい。合わせて、その建物の周辺に、文化教養的な催しができる、多目的な広場があると良い。

## 審議経過および審議結果

(委員)

継続性があり、多くの人に訪れていただける施設としていただければと思う。  
基本構想の内容については、素案のとおりで良いと思う。

(副委員長)

施設の場所については、ガイダンス施設であることと、屋島山上の各所へのアクセスの起点となるところという見地から、駐車場に近いところが良いという意見を提案していたが、それに対して、駐車場付近にも補完的な施設を別途整備するという素案を示していただいたので、了解したいと考える。

また、どのような施設とするかという点については、屋島の多様な価値を高めるという大きな目的があり、屋島の文化財としての価値を高める施設も必要であるが、現地で説明できるガイドの配置が重要であると考えている。基本構想に盛り込むべき内容ではないかもしれないが、管理運営に当たっては、現地ガイドの養成と配置を施設の機能として持たせて欲しい。

(委員)

現地ガイドについては、是非配置して欲しい。屋島をしっかりと説明できるプロの人を養成して、常に屋島にいるようにすることが重要ではないか。

(委員)

屋島の自然環境や歴史文化などを、小さい時から総合的に教えて、屋島に関心を持たせるようにする教育が重要である。そういう拠点にできれば良いと思う。

(会長)

委員皆さんからの意見を踏まえ、市の方で最終的な加筆・修正を行い、基本構想案を取りまとめるが、その内容について、私の方で確認させていただくということで、委員皆さんの一任をいただきたい。

また、委員皆さんからの意見の全てがこの素案に盛り込まれているわけではないので、素案に盛り込めなかった意見については、私の方で懇談会の意見として取りまとめ、後日、市長に意見書の形でお渡ししたいと考えているが、よろしいか。

(委員了承)

(会長)

事務局の方で、これまでの意見の中で、基本構想に盛り込めなかったものの、今後、整備に向けて進めていく中で、配慮してもらいたい意見等について、あらかじめ集約しているので、それをお配りする。

(意見書案を配付し、内容等について事務局から説明)

議事(2) その他

(事務局)

今後のスケジュールであるが、基本構想の素案については、若干の修正を加えた上で、会長から市長に御報告いただいた後、市の方で原案として取りまとめ、議会説明、パブリックコメントを経て、最終的な基本構想として策定していきたい。その後、設計に入っていくということになるので、よろしく願います。

—以上で審議終了—